平成 29年 9月1日発行

わっと集まり和やかに!!

釧路市民活動センター

わっと

〒085-0014
北海道釧路市末広町3丁目1番地
ＴＥＬ：0154-22-2232
ＦＡＸ：0154-22-2234
E-Mail：info@946wat.jp
Ｈ　Ｐ：http://www.946wat.jp

第82号
だより

釧路川遊歩道散策のおすすめ

平成10年、「旧釧路川ふるさとの川整備計画」が国土交通省の認定を受けてスタートし、幣舞橋から久寿里橋、さらに旭橋からＪＲ橋までの左右両岸の護岸工事とプロムナード（遊歩道）が平成２４年の「あさひ広場」完成をもって出来上がり、新たな都心部水辺空間が誕生しました。

この間、平成１３年には市民による名称復帰運動の結果「旧釧路川」から「釧路川」へと川の名前が変更になり、釧路川への愛着度がさらに高まることに繋がっていきました。

この新たな水辺空間の創出のために、市民有志からなる「釧路川ふるさとの川懇談会」が、その年から１０年間毎年数回ずつ行われ、私もメンバーの一人として参加し、リバーサイドパークが完成した暁には、このエリアを会場に川と親しむ市民イベントを開きたいという思いを心の中に抱き続けてきました。

その思いは平成２１年に開催した「くしろ川リバーサイドフェスタ２００９」で実現したのですが、このイベントをきっかけにその後「Ｂ級グルメ祭り」や「釧路川まつり」などの様々な催しがこのリバーサイドを会場に開催され、この親水エリアは文字通り市民や観光客に親しまれる水辺空間として市民権を得ることになりました。

今では、ジョギングや犬と散歩する人、のんびり釣りを楽しむ人の姿、釧路でのちょっと暮らしや観光にやってきた熟年夫婦カップルが散歩する姿が毎日何組も見られるようになり、異国情緒たっぷりのこの川辺の魅力を存分に満喫しているようです。

幣舞橋から旭橋の左右両岸をゆっくり回って約４５分、手ごろな散歩コースですが、途中途中に休み処として「おおかわ広場」「ふれあい広場」「あさひ広場」「舟着き広場」「中央広場」「ぬさまい広場」が設備されています。ところでどの広場がどこにあるかを正確にご存じですか？もしご存じでないなら、それぞれの広場の位置を確認しながら散策するのもおもしろいと思いますよ。

さて９月に入りました。この時期は海に落ちていく夕日と夕焼けの景色を幣舞橋から眺めようと全国から夕日ファンがどっと集まってくれます。バリ島、マニラと並ぶ世界三大夕日として知られるようになった釧路の夕日、そしてそれを背景に９月２日と３日に「釧路川幣舞橋フェスタ２０１７」が幣舞橋下の左岸川辺を会場に開催されます。この会場は大漁どんぱくの打ち上げ花火をビール片手にゆっくり楽しむことができる絶好のビューポイントにもなっています。ぜひご来場ください。フェスタでお会いしましょう。

NPO法人くしろ・わっと理事長　小林　友幸

担当：杉田美由紀

釧路市民活動センターわっと

第13回 生誕祭 特別講演会

講　師◆哲学者　内山（うちやま）　節（たかし）　氏

演　題◆『地域の思想とは何か
　　－新たなローカリズムの可能性』

日　程　9月30日（土）
時　間　14:00開始
場　所　釧路市民活動センターわっと 会議室3
定　員　80名

要予約
定員になり次第締切

講座情報

問合せ・申込みは、わっとまで
TEL：0154-22-2232
FAX：0154-22-2234
E-mail：info@946wat.jp

日　程　9月19日（火）
時　間　14:00～16:30
場　所　釧路市民活動センターわっと会議室3
定　員　30名
主　催　釧路市民活動センターわっと
　　/北海道ｿｰｼｬﾙﾋﾞｼﾞﾈｽ支援ﾈｯﾄﾜｰｸ

内　容

講演■『共感と信頼を得る
　　ソーシャルビジネスの経営』

講師■札幌学院大学経営学部
　　教授　河西 邦人 氏
　　社会的課題の解決と収益力の強化の両立に結びつくポイントをお話しします

施策紹介■北海道釧路総合振興局/日本政策金融公庫
　　補助や融資など資金面での支援策を中心に施策を紹介します

上記終了後、個別相談会（予約制）と名刺交換会を実施します

NPOによる多様な被災者支援を考える意見交換会 ～災害時にNPOができること～

日　程　9月21日（木）
時　間　13:30～15:30
場　所　釧路市民活動センターわっと 会議室3
定　員　20名
主　催　NPO法人くしろ・わっと
内　容

①「災害時における
　　被災者支援活動の展開について」
　話題提供者：(一社)Wellbe Design
　　理事長　篠原 辰二 氏
　災害時におけるNPO等市民セクターが行う支援活動の展開について、全国的な事例をもとに説明します

②意見交換会「災害時のNPOの
　　役割について考える」
　組織の特性を生かした災害時の支援活動について話し合います

災害支援活動をしていない団体の参加もお待ちしています

わっとコーナー

第3回まちなかにぎわい広場レポート

担当：佐藤　陽介

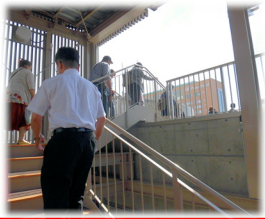
今年のまちなかにぎわい広場は、7月28日・29日及び8月3日・4日の4日間に渡って開催しました。初日の28日のみ雨天で日中のテント市は中止となりましたが、スターバックスコーヒーの試飲イベント及び夕方からわっと会議室で片桐智之「歌のステージ」と阿部静華「ギター弾き語り」によるステージを行いました。29日は予定通りテント市を開催しましたが、スターバックスコーヒージャパンの出店の影響で多くの来場者を招き入れる事が出来ました。8月3日にはフリマ、雑貨等のアウトレット商品を中心としたアウトレットモールを開催し、格安衣類等に人が集まりました。そして8月4日の最終日は、日中の日舞＆新釧路音頭の踊り、ハーモニカ演奏が行われ、夜にはビアガーデンと共にさとうみきライブ、成田護テナーサックス演奏、ヒートボイス「伊藤カズヒロ」ライブステージで盛りあがり、ラストは大抽選会で締めくくり、今年も大盛況の中で開催できた事に感謝いたします。

釧路市防災庁舎内 緊急避難訓練

担当：川瀬 千栄子

７月２９日まちなかにぎわい広場の開催中に大津波が発生したとの想定で防災庁舎の外階段で５階まで避難をしました。東日本大震災発生当時の状況の説明の後、簡易段ボールベットの組立をしたり、庁舎内の備蓄倉庫や施設内の見学をしました。小学生や高齢の方まで幅広い年齢の４３名の参加で開催されました。

防災庁舎前広場では「日本赤十字社 北海道支部釧路地区」「釧路地方防災ボランティアの会」「社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会」のご協力でカレーを無料で100食配食しました。10分程で終了し、実際に被災地で行われている炊き出しを体験して頂く事が出来ました。



釧路の防災を考える市民ワークショップ

第３回　避難所生活の質を上げるために

9/16(土)

前回実習した避難所運営ゲームを踏まえて、避難所の課題や様々な環境の人々が少ないストレスで生活できる場にするために出来ること、またスムーズに支援物資を受けるために取り組んでいきたいことを考える。

ゲスト講師：今井　洋子氏（ねこのもり代表）

講　師：辻川　実氏
会　場：わっと会議室３
時　間：１４：００～１６：００

参加無料

ペットとの避難について

申込・お問合せ／NPO法人 くしろ・わっと　Tel(0154)22-2232

まちなか農園事業報告

担当：川瀬 千栄子

昨年は台風直撃のためじゃがいもの収穫が出来ませんでした。嬉しい事に今年は7月に温かい日が続き順調に成長し可愛い花が咲きました。蝶も舞う一面の紫のお花畑になりました。しかし、雑草も激しく成長中です。雑草が生えないように防草シートを敷き詰めましたがボウボウです取り残した一本の根は数日後にはたくましく成長し、光を求めて防草シートを突き破る程です。何という生命力でしょうか完敗です。今年はじゃがいもの他に人参とビーツも植えました。小さな種から大きなビーツができました。ビーツはあまり知られていませんが、ロシアのボルシチに使われる蕪のような野菜です。生であまり出回っていませんが少し甘みがありスープやサラダに使われます。飲む血液と言われる程真っ赤です。じゃがいもの隣で成長中です。

９月の収穫、大きなじゃがいもと幼稚園の皆の笑顔に出会うのが楽しみです。

ボランティア愛ランド北海道2017inさっぽろ報告

８月５日(土)・６日(日)と札幌にて「ボランティア愛ランド2017」に参加してきました。1日目は札幌コンベンションセンターにて「道新ボランティア奨励賞 贈呈式」、片田敏孝氏の講演「災害に対する意識の持ち方～津波てんでんこに学ぶ～」、リレートーク「連携・協働のボランティア～災害ボランティアを中心に～」が行われました。

道新ボランティア奨励賞（10団体）を 釧路市　釧路鳥取てらこや、釧路町　北海道釧路東高等学校が受賞しました。片田先生の講演では、釜石の子ども達の映像を見ながら「津波てんでんこ」の取り組みが報告され、子ども達の葛藤や成長、家族の絆に多くの拝聴者が涙しました。

また先生のお話の中で印象的だったのは　北海道も今後必ず地震や想定を超える豪雨などの災害が起こるという事。近年の海水温の上昇はどこで豪雨が発生してもおかしくない状態にある。という事でした。江戸時代は「火事と葬式」は必ず助け合うという暗黙の約束がかわされていたといいます。

現代は、人と人とのつながりが希薄になっていますが、今 防災のとりくみで「つながりを回復し創造する」と考え、またその機会ととらえてはどうかとご提案されました。災害時、最小限の被害にとどめるためには、本当に力を合わせることが必要ですし、日々、地域住民で防災訓練、学習を行うことが大切であると実感します。ただ片田先生もおっしゃっていましたが、防災学習会を開いても結局関心の無い方は集まらない。当たり前の事ではありますが・・。むしろ既存の集まりや団体の会合に出掛けて行くなどの防災学習会が必要になりそうです。

リレートークの昨年台風で被災した清水町の方々のお話では、不意に自分の街にも起こりうるのだと考えさせられました。また釧路東高校の【「震災の復興手助け」を通して】の報告はさわやかで「地域と共に」という想いに会場全体が共感の温かい拍手を送りました。

２日目は札幌エルプラザにて「ボランティア活動に活かせるレクレーション交流会～もっとすてきにレクレーション！レクレーションが紡ぐコミュニケーション～」に参加。全道のみなさんと楽しく体を動かしてきました。高校生も10名ほど参加。充実した２日間でした。

担当：古川昌代

市民活動中間支援センター研修会 報告

担当：佐藤　陽介

今年の7月～11月に札幌で行われる中間支援センター研修会に参加しています。現段階で7・8月の研修が終了致しましたので、ご報告させていただきます。

「ファシリテーション・グラフィック」 H29年7月12日（水）開催

ファシリテートとは・・・「会議を楽しく円滑に促進していく働きかけ」というイメージ。

◆会議をする上での主な役割分担

①会議の進行役・・与えられた時間内で会議を進行し、会議の目的を達成するために、沢山発言してもらえる様にする役割。
②グラフィッカー（板書係）・・会議の内容を整理し、わかりやすく（共有）する為の板書。
③タイムキーパー・・参加者全員に聞こえるように時間を伝える時間の管理人。

◆会議を効果的に進めるためのポイント

①グランドルールを決める
意見交換前に会議運営上の基本的なルールについて参加者間で合意しておく事が有効である。

②プログラムを見えるところに掲示する
その日のタイムスケジュールやプログラムを参加者が見えるところに掲示しておく事で、全員が全体の流れを把握する事ができ、安心して参加する事ができる。時計の下等に掲示すると時計と合わせて確認出来るのでオススメである。

③アイスブレイクを導入する
アイスブレイクとは、会議やワークショップで行われる、レクリエーション要素を取り入れた活動である。参加者の心身の緊張を和らげ、活発に意見を出し合い、個人やグループが十分に能力を発揮できる環境をつくります。会議の最初に自己紹介やグループ分けに使ったり会議の途中で気分転換や気づきを与えたいときにも使います。

◆研修で学んだポイント

「困った会議をどうしたらよいか」というテーマでグループワークを行い学んだポイントとしては、１点目として「参加者全員が発言しかつ意見が沢山出る様にする」という進行上の目標・注意点を踏まえて、意見をスムーズに出すには予め事前に議題を伝えておく（資料を渡しておく）等の段取りが必要であるという事、２点目としては、進行役の役割として緊張したり固くならない様に場の雰囲気作りが重要であるという事。例えば、笑顔で明るく振る舞う事や、参加者の意見についてまずは「なるほど、確かに」という様に受け入れてから自分の意見を述べる等、視野を広くして気配りをする事が大事ということ等を学びました。

「中間支援センターの広報」 H29年8月9日（水）開催

◆広報する上で重要な考え方

・広報をする上での心持ちとして、最初は「１人の心をつかむ為に」からスタートする事で最終的には皆（多くの人）に伝わる。
・ターゲットに合わせた訴求ポイントをつなぎ合わせる。（訴求ポイント：ｷｬｯﾁﾌﾚｰｽﾞ等）
・自分の「困った」を外部に出す。助けてもらう事で相手と仲良くなり関心を持ってくれる。
・身近な知人や影響力のある人等、周りが協力してくれる事で広がっていく。

◆広報する上での注意点

チラシ作りで一番大事な事は、内容を興味を引く様に楽しく書く事であり、ただ「お気軽に・・」、「ご自由に・・」、「どなたでも・・」等と書くのはＮＧ。

◆研修で学んだポイント

４人ずつのグループワークで広報と広告との違いを論議したり、実際にチラシのレイアウトを作成する実習を行いました。訴求ポイントを一番意識して作成する事で消費者の購買欲を掻き立てられるコツ等を学ぶ事が出来ました。

イベント情報

担当：飯飼　陽介

竪穴まつり
～北斗遺跡でむかし体験～

北斗遺跡でむかし体験！有美や・火おこし・擦文食試食などの先史生活を体験しませんか？
日　時：9月17日（日）午前10時～午後3時
場　所：北斗遺跡ふるさと歴史の広場
　　史跡北斗遺跡展示館・復元竪穴住居
料金：無料
問合先：釧路市立博物館
ＴＥＬ：0154-41-5809

チェロアンサンブル　ユイット
釧路公演

8人のチェリストによる幅広い世代の記憶に残る力強いメロディー
日　時：9月19日（火）　開場 午後6時～
場　所：釧路市民文化会館小ホール
料　金：前売2,800円/当日3,300円
問合先：（一財）釧路市民文化振興財団
ＴＥＬ：0154-24-5005

喫茶 珈琲坂　ギャラリー展

佐々木信哉　油彩展
日　時：9月4日（月）～9月23日（土）
場　所：ヤマ（炭鉱）の喫茶 珈琲坂
問合先：坂本幸二
ＴＥＬ：0154-41-6905

菅谷 栄治　油絵展
「道東・道央・道南の四季」

日　時：9月5日（火）～9月14日（木）
　　午前10時～午後6時
場　所：港文館
問合先：港文館
ＴＥＬ：0154-42-5584

水彩画　玉川敏子　追憶展

日　時：9月1日（金）～9月30日（土）
場　所：社会医療法人孝仁会
　　介護付有料老人ホーム はまなす芦野館
問合先：松田　康祐　0154-39-1666

釧路高齢者劇団　団員募集

会　場：寿生活館。毎週金曜13時半から。
会　費：月　1,000円
問合先：　佐藤　0154-24-7663

釧路川幣舞橋フェスタ2017

9月2日（土）

11時～「九州北部豪雨災害被災者支援チャリティー企画　夕日に向かって勝手にカラオケ」
12時～JAしべちゃ牛乳無料配布
16時～幣舞橋カラオケ大会
19時～どんぱく花火鑑賞タイム

9月3日（日）

10時～スコップ三味線/釧路アップルシャベル/釧路湖陵高校生バンド競演
　　よさこい演舞/釧路学生魂～心～　新釧路音頭
　　JAしべちゃ牛乳無料配布
13時～釧路川早食い大会
14時～おやじバンドで踊ろう/ザ・ギャラクシー
15時～道東管隊ライブパフォーマンス
15時45分～「グリーンパークつるいペア宿泊券など豪華景品100本が当たる大抽選会」
　　（抽選券1枚100円、2日・3日両日会場にて販売）

同時開催：釧路管内うまいものテント市・フリーマーケット
開催場所：釧路センチュリーキャッスルホテル前河岸会場
主催：釧路川幣舞橋フェスタ実行委員会　NPO法人くしろ・わっと
連絡先：釧路市民活動センター0154-22-2232

助成金情報

詳しくは、各団体のホームページをご覧ください。

花王・みんなの森づくり活動助成

◆助成対象
国内で身近な緑を守り、育てる活動に取り組んでいる団体と身近な緑を活用し、子どもたちに緑との触れ合いの機会を創出する活動に取り組んでいる団体
◆助成額　1件あたりの上限額：50万
◆問合せ、応募先
〒101-0051　東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
公益財団法人都市緑化機構　みんなの森づくり事務局
TEL：03-5216-7191
URL：https://urbangreen.or.jp/grant/kao_minnanomori/guideline-kao
◆応募期間　2017年8月1日～2017年10月14日まで

子どもたちの「こころを育む活動」

◆助成対象
・学校と家庭、地域、企業などのさまざまな団体が連携し、継続している活動
・団体が行う子どもたちの”こころを育む活動”で、下記の「3つの工夫」があること
「進め方の工夫」活動の対象や目的が明確で、活動を充実、拡大するための進め方における工夫
「連携の工夫」学校と地域団体が連携するための工夫
「継続の工夫」これまで、また将来へ活動を継続するための仕組み・工夫
◆助成額　1件あたりの上限額：100万円
◆問合せ・応募先
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10　第2ローレルビル6F
公益財団法人　パナソニック教育財団内
TEL：03-5521-6100
URL：http://www.kokoro-forum.jp/project_kokoro/
◆応募期間　2017年9月1日～2017年9月29日まで

ヤマハ音楽支援制度 2018年度「研究活動支援」

◆助成対象
・音楽を科学的あるいは社会学的視点から考察した研究活動
・個性的かつ創造性に富んだ研究活動
・音楽文化の向上に有益な、又は新しいテーマを持った研究活動
◆助成額　1件あたりの上限額：100万円
◆問合せ
〒153-8666　東京都目黒区下目黒3丁目24－22
一般財団法人ヤマハ音楽振興会
TEL：03-5773-0808
URL：http://www.yamaha-mf.or.jp/shien/kenkyu/
◆応募期間　2017年9月25日～2017年10月16日まで

担当：湯井 沙織

私は本当に病人なのです。

担当：成ケ澤　茂

わっとに来る方の多くは、私の事を顔色が良くて病人には見えないと言います、この前検査にいった看護婦さんも同じことを言いますが、８月１０日の血液検査ではマーカーの数値がほんの少し上がっていて、足と手の感覚が通常よりおかしく、足は全体が手の指は先の方がしびれています。生活には困らないが抗癌剤の後遺症との事です。実はアウトレットモールとまちなかにぎわい広場のイベントが８月３～４日あり、準備や後かたずけも含めて３日～９日まで７勤になってしまい、ヘロヘロな状態でしたのでこうなったのか、それとも抗癌剤が効かなくなったのかその原因は定かではありませんが、先生は抗癌剤の薬を変える判断をして８月２２日～２８日まで入院する事になりました。その決断の根拠は足と手のしびれが取れない事が、この先ずっと状態が続くことを心配しての判断だと言っていました。先日同窓会に行って私の主治医の上司が隣に座りましたが、いろいろ聞こうと思いましたが病気の事はあまり触れず、家族や他の同期の話で盛り上がりました。２次会では、同じ癌患者がたくさんいて、結構みんな自分の意志を通して、先生の治療に反発したり、その病院だけでなく他の病院で診察受けたり、うんちくを色々な人から聞かされました。私は昨年の１２月から今まで、何も考えず先生の言う通りにしてきて、ステージ何々とよく言いますが私はそれも聞いていないし、先生も何も言わないのでわかりません。同期や先輩からは色々言われましたが、今後も先生を頼りにして治療して行きたいと考えています。この抗癌剤の薬を変えた結果はまた報告させて頂きます。

話は変わりますが、わっとの生誕祭として内山　節(うちやま　たかし)氏の講演会を企画しています。釧路教育大学のシンポジウムと２０１２年の「くしろ・エコフェア」の特別講演として釧路にきてくれました。２回の講演会を聞いて、何故か感動して身震いをするのです。**内山先生は東京と群馬県の山村に農地と森林を持っており、「応援団」という立場ではない。東京との二重生活のために、農地はしばしば草地と化してはいるが、農の営み、山の営みとともに、自分の関係=存在する世界をつくっているのだから、自分の立拠点は、むしろ、農の営みをもっている山村の人間である。つまり、村の人間として、農とともに展開する社会における人間の存在の空虚さを感じている。私は『応援団』としてではなく、農の営み山の営みに加わっている人間として、同時に現在の哲学を研究してきた人間として、食と農の運動に参加していこうと思う。と、**オフィシャルサイトに書いていました。２０１５年まで立教大学の教授、ＮＰＯ法人森づくりフォーラム代表理事でもあります。何もわからず哲学者内山節の話を聞いて、何もわからず終わってしまうのですが、全身に満足感と充実感が広がり身震いを感じます。また時が経って一つ一つの言葉が蘇って実生活の中で動き出すのです。このような不思議な感動を味わってもらいたいと思います。哲学者内山節の話は、参加した人を裏切らないと私は自負しています。皆さんも９月３０日午後２時～、釧路市民活動センターわっと第３会議室、定員８０名で予約が必要です。是非参加して身震いを感じて下さい！宜しくお願い致します。

編集後記
お盆を過ぎたというのに気温が 30 度を超え、根っからの釧路人の私は頭が「ぼーっ」として熱中症になりかかりました。気温の変化に体がついていきません。皆様もご自愛ください。　　川瀬　千栄子